

メタルキャタライザーキット

取付説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

本製品は、下記に示す車両のみ取付け可能です。

万が一お車と本製品の型式等が異なる場合には、速やかにお買い上げの販売店にご連絡ください。

商 品 名	車種別メタルキャタライザーキット
用 途	自動車専用部品
コ ー ド No.	33005-AH005
取付説明書 品 番	E65460-H91020-00 Ver. 3-3. 02
メ ー カ ー 車 種	ホンダ S660 DBA-JW5 , 3BA-JW5 (MTのみ)
エ ン ジ ン 型 式	S07A
年 式	2015 年 04 月～
備 考	

※適合車両の年式は、2021年12月現在のものです。

2022 年 1 月以降に登録された車両への適合については、お買上げの販売店にお問い合わせください。

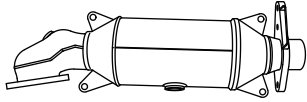
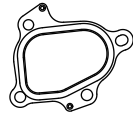
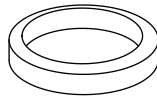
改訂の記録

改 訂 No.	日 付	
3-3. 01	2016/8	初版
3-3. 02	2021/12	適合車種追加

2021 年 12 月 13 日発行

HKS METAL CATALYZER

パーツリスト

連番	品名	数量	形状	備考
1	触媒 Assy	1		
2	ガスケット	1		ホンダ® 純正 18234-R9H-004
3	ガスケット	1		
4	スペーサー（球面ガスケット用）	1		
5	スペーサー（遮熱板用）	4		
6	取扱説明書	1		
7	取付説明書	1		
8	試験成績表	1		DBA-JW5 6MT 用 DBA-JW5 CVT 用 3BA-JW5 6MT 用

※パーツリスト内の部品を別途購入する際は、補修パーツとして設定してある為、お買上の販売店にお問い合わせください。

HKS METAL CATALYZER

1. ノーマルパーツ取外し

作業を始める前にバッテリーのマイナス端子を取外し、必ず整備要領書及び取扱説明書に準じて作業を行ってください。

- (1) マフラーの中間パイプを取外し、触媒下部フランジとエンジンを繋ぐブラケットを取外してください。(エンジン側は緩めるだけ)
- (2) LAFセンサーをカプラー、ネジ部の順に取外し、タービンの遮熱板を取外してください。
- (3) O2センサーのカプラーの接続を外し、触媒を取外してください。

アドバイス

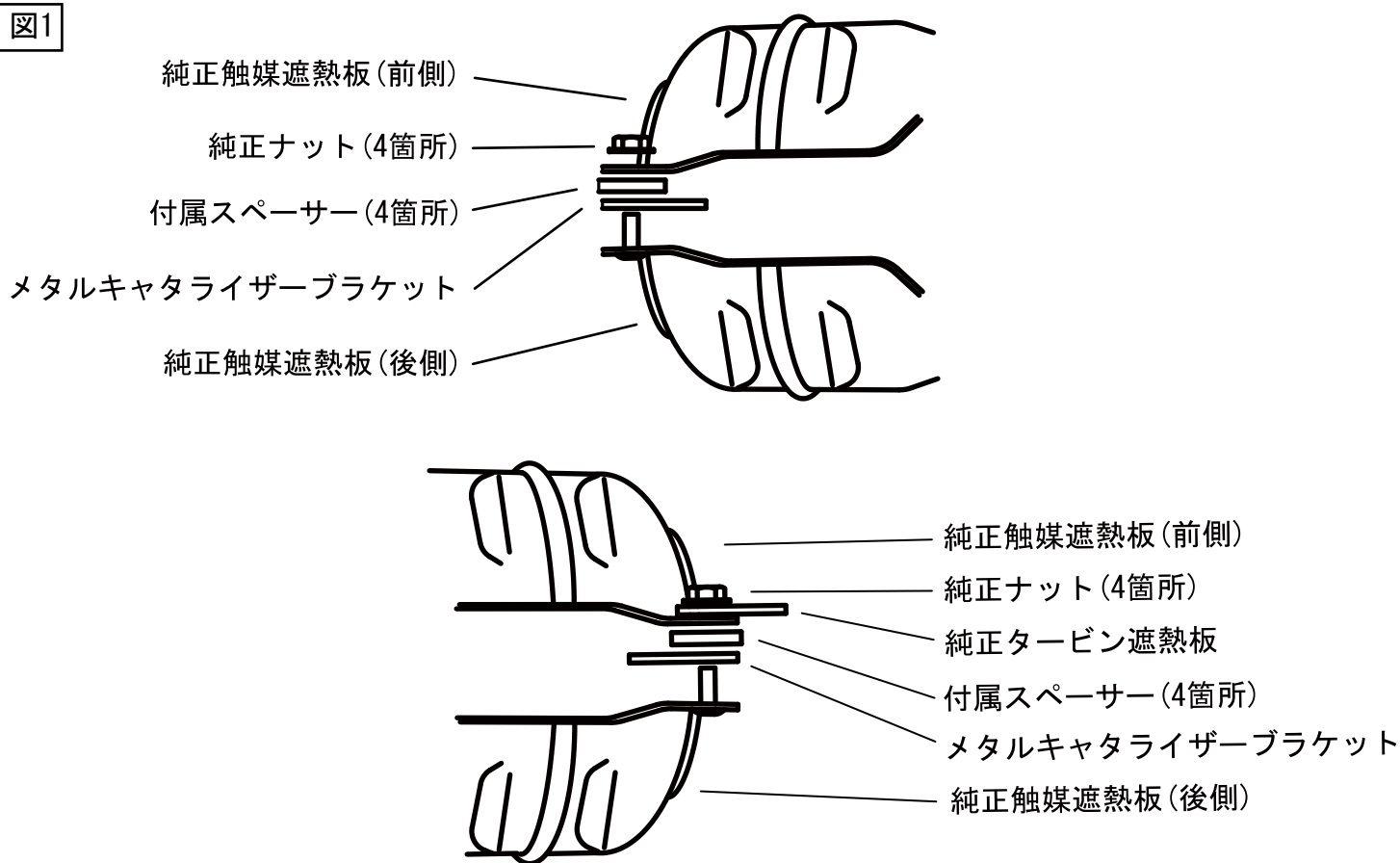
- センサーの取外しは、ハーネスを損傷しないように気をつけてください。
- 取外した触媒は再利用しませんので保管してください。
遮熱板・ボルト・ナット・スプリング・球面ガスケットは再使用します。

2. メタルキャタライザーの取付け

- (1) 取外した純正触媒から、純正触媒遮熱板およびO₂センサーをメタルキャタライザーに取り付けてください。
純正触媒遮熱板は熱抜き穴が上に来るよう、後側、メタルキャタライザー、付属のスペーサー、前側の順に重ね、純正ナットで締付けてください。LAFセンサーボス下の1箇所は純正タービン遮熱板を挟むため、仮締付けしてください。

* LAFセンサーとO₂センサーの違いにご注意ください。先端が平らなものがO₂センサーで先端がテーパー状に細くなっているものがLAFセンサーです。

図1



締付トルク N・m(kgf・m)

- 遮熱板取付け ナット T= 9.8 N・m (1.0 kgf・m)
- O₂センサー T= 45 N・m (4.6 kgf・m)

- (2) タービン側に残留したガスケットをスクレーパー等で除去し、添付のタービンガスケットをタービン側のスタッドボルトに通してください。
- (3) 純正のボルト、ナットを使用してメタルキャタライザーを純正触媒のあった場所へ仮組付けしてください。
- (4) 触媒と車体各部とのクリアランスおよび干渉しないことを確認し、触媒を本締付してください。

締付トルク N・m(kgf・m)

- 触媒タービン側フランジ ボルト・ナット T= 32 N・m (3.2 kgf・m)
- 触媒下部フランジ・エンジンブラケット ボルト T= 24 N・m (2.4 kgf・m)

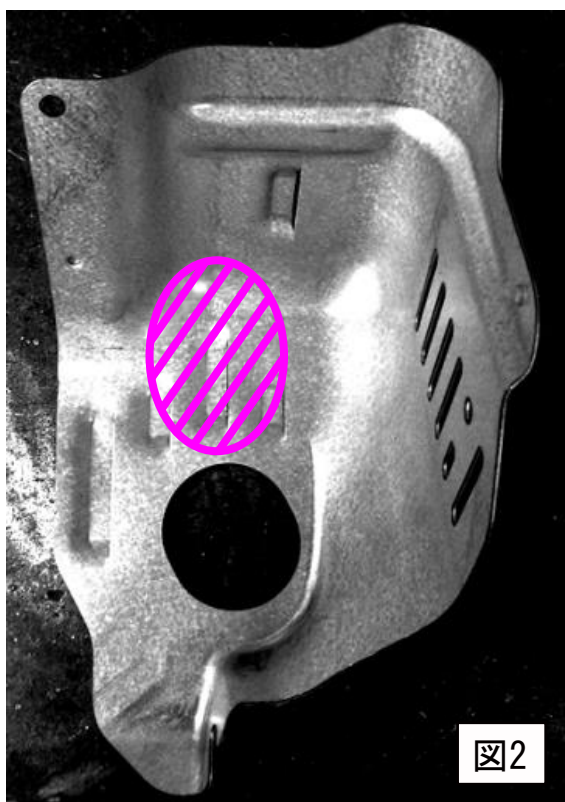
HKS METAL CATALYZER

3. 純正タービン遮熱板の加工

- (1) 純正タービン遮熱板の図2斜線部分を内側からハンマー等で叩き、元より熱抜き穴が開いていたところまで広げてください。(図2～4参照)
- (2) 純正のボルト、ナットを使用して純正タービン遮熱板を車両に仮組付けしてください。純正触媒遮熱板と共締めする切欠き部は純正触媒前側遮熱板と純正ナットの間にに入れてください。(図1参照)
- (3) 触媒と純正タービン遮熱板とのクリアランスおよび干渉しないことを確認し、本締め付してください。

締め付トルク N・m(kgf・m)

●遮熱板取付け ボルト・ナット T= 12 N・m (1.2 kgf・m)



4. センサーの取付け

(1) 純正LAFセンサーを取付けてください。

締付トルク N・m(kgf・m)

●LAFセンサー T= 45 N・m (4.6 kgf・m)

(2) LAFセンサーおよびO2センサーのカプラーを接続してください。

5. マフラー中間パイプの取付け

(1) メタルキャタライザー下部フランジから出ているパイプに付属のガスケット(φ61-49)、スペーサー(φ58-45.5)、純正球面ガスケットを順に通し、中間パイプを純正スプリングと純正ボルトで取付けて仮締付けしておいてください。

(2) 中間パイプと車体各部とのクリアランスおよび干渉しないことを確認し、本締付してください。

締付トルク N・m(kgf・m)

●中間パイプ球面フランジ ボルト T=22N・m (T=2.2kgf・m)



注意

●中間パイプ前後フランジ部の純正ボルトは4本均等に締めこんでいってください。1本ずつ先に締めこんでしまいますと、フランジが傾いてフランジ穴部に純正ボルトのフランジが引っ掛かってしまい、正常に取付することができず排気漏れしたり、マフラーのテールが正規位置にこない等の不具合が発生する恐れがあります。

6. 取付け状態の確認

(1) バッテリーのマイナス端子を取付けてください。

(2) 取付け作業終了後、各部に干渉が無いことを確認してください。

(3) エンジンを始動し、約2500回転で回して排気漏れや異常音を点検してください。

(4) 試運転により、再度排気漏れや異常音を点検してください。

※取付作業終了後、必ず取扱説明書の「取付後の確認」に従って確認作業を行なってください。

7. 取付け後の確認

(1) 本製品を装着した場合、弊社販売のマフラーであれば問題ありませんがエアクリーナーや他社製品と併用する場合はノッキングの有無の確認を行ない、必要であれば再セッティングを行なってください。



注意

●車両による個体差や、併用する部品により性能変化には差が生じます。同様にノッキング等の発生も一様ではない為、製品装着時には充分注意し問題が確認された場合は、セッティング状態と併用部品を検討してください。



株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>

メタルキャタライザーキット

取扱説明書



Pursuing the Ultimate in Engine Performance and Efficiency.
HKS Company Limited.

取付けは必ず専門業者に依頼してください。

取扱説明書を先に読んでから作業を行ってください。

本書はご使用前に必ずお読みください。

本書は、お読みになった後も本製品の側に置いて活用してください。

目次

	ページ
はじめに —————	1
用語の説明 —————	1
安全上の注意 —————	2
取付方法 —————	3
取付けを行なう前に —————	3
取付後の確認 —————	3
維持・管理 —————	4
異常・故障等の対応 —————	4
アフターサービスについて —————	4
譲渡等の際の注意 —————	5
排ガス試験成績書 —————	5

はじめに

この度は、H K S 製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本書をよく読み、理解したうえで取付けを依頼してください。

取付けは必ず専門業者に依頼し、取付け終了後は本書に記載されている内容を守り安全にご使用ください。

本書は取付けを行なう前に必ず読み、よく理解したうえで作業を行なってください。
ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と本書を併用して作業を行なってください。

整備書がお手元に無い場合は、新たに購入してください。

用語の説明

- 本書は本製品を安全に取付けていただき、あなたや他の人々への危険や損害を未然に防止するために守っていただきたい注意事項を記載しています。
- お客様又は第三者が、本製品及び付属品を誤使用したことにより受けた損害については、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品はノーマル車両及びH K S 製品を装着している車両への取付けを基準に製作されています。上記車両以外に取付けた場合は、本製品の機能・性能及び安全性について保証いたしかねます。
- 本製品は日本国内での使用を目的に設計されたものです。海外では使用しないでください。
This Product is designed for use in Japan only.
It must not be used in any other country.
- 本製品は付属品を含め、改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書は、予告なく改版することがありますので本製品と本書の整合をご確認ください。
- 消耗部品や紛失部品および本書のご注文は、お買上の販売店にお問い合わせください。
部品を発注する際は、商品名・コードNo.・エンジン型式を注文先にお伝えください。
コードNo. は本書のパーツリストに記載されています。
- 取付け終了後、本書”アフターサービスについて”に記載されている取付け業者名記入欄に必要事項を必ず記入してください。
- 本製品はノーマル車両に装着した際、道路運送車両法の保安基準第31条「ばい煙、悪臭のあるガス、有毒なガス等の発散防止装置」の基準に適合するものです。
- 車両によっては、本製品に交換する事で近接排気騒音が増加し、道路運送車両法の保安基準第30条「騒音防止装置」の基準に適合しない場合があります。

安全上の注意

本書では、下記のような記号を使用しお客様への危険レベルを示しています。

 警告	● この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性がある場合。
--	---

 注意	● この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性がある場合、または物的損害の発生する可能性がある場合。
--	---

本製品を正しくお取扱いいただくために下記の注意事項を必ず厳守してください。

 警告	● 爆発及び火災防止のために、次のことを守ってください。 ・ 換気のよい場所で作業してください。 ・ 可燃物を取扱う際は、火気に充分注意してください。 ● 電機ショートによる電装部品の破損及び焼損・火災を防止するために、次のことを守ってください。 ・ コネクタを取外す時は、断線しないようにコネクタを持って取外してください。 ● 車両をジャッキアップする場合には輪止めをかけ、ジャッキは必ず所定の位置に当ててください。又、そのまま作業せずリジッドラックで支えてから作業を行なってください。 ・ 所定外の位置でのジャッキアップはバランスが悪いばかりでなく車両を傷つける恐れがあります。 ・ リジッドラックを確実にかけないと車両が落ちて怪我をしたり最悪の場合死亡する恐れがあります。
--	--

 注意	● 本製品の誤使用は絶対に行なわないでください。 ・ 誤使用したことにより異物がキット内に入り、最悪の場合エンジンが壊れる恐れがあります。本来の性能を損なう恐れがあります。 ● 作業を始める前にキャタライザーの温度が約40℃位（手で触れて熱くない程度）に下がっていることを確認してください。 ・ 火傷をする恐れがあります。
--	---

取付方法

- 製品の構成部品をパーツリストに記載してあります。取付前に異品・欠品のないことを確認してください。
- ノーマルパーツの取付け・取外し作業はメーカー発行の整備要領書をよく読んでから行なってください。整備要領書がお手元にない場合は、メーカーにてご購入ください。
- 本製品の取扱いは慎重に行なってください。落としたり、強いショックを与えないでください。
- ボルト・ナット類は適切な工具で確実に締付けてください。必要以上に締付けを行なうと、ボルト類のねじ部が破損します。
- 取付け作業のため一時的に取外すノーマルパーツは破損又は紛失しないように保管してください。又、ノーマルパーツを取付ける際間違えて取付けないように、取外すノーマルパーツにはマーキングをしてください。

取付けを行なう前に

- ★ノーマルパーツの取付け、取外しはメーカー発行の整備要領書と取付説明書を併用して作業を行なってください。

取付け後の確認

始動直後は回転を上げないようにしてください。（アイドル回転）

	始動前	始動後	停止後	走行後
ボルト・ナット類が確実に締まっているか。	☐		☐	
取付けた部品が他の部品と干渉していないか。	☐		☐	
取付けた部品がしっかり固定されているか。	☐		☐	
軽く空吹かしを2、3度行ない排気ガスが漏れていないか。		☐		☐



警告

- 仕様により燃調セッティングが必要な車両の場合、セッティング中の失火やレブリミッターにあてる等して、排気温度の過度の上昇が繰り返されると、キャタライザーが破損する恐れがあります。その場合、クレーム対象外となります。また、純正以外のECUを使用しないでください。純正以外のECUを使用した場合、クレーム対象外となります。

各部確認終了後、バンパ及びアンダーカバーを取外して作業していた場合には、元通りに取付けてください。

維持・管理

快適に運転していただくために、お車を運転する前には必ず日常点検を行ってください。

- 日常点検はドライバの責任です。必ず実施してください。
- ユーザーマニュアルに記載されている事項以外は専門業者に依頼してください。
- プラグは走行状況に応じて変更してください。
- オイルは定期的に交換してください。オイルを交換する際には、H K S 指定オイルをご使用ください。

交換目安： 3.000 ～ 5.000 k m 毎又は、3 ～ 6 ヶ月毎に交換してください。

異常・故障等の対応



警告

- 走行中、音等の異常を感じた場合は直ちに走行を中止し、原因を確認してください。キャタライザーの脱落が生じている場合には、エンジンを再始動しないでください。
 - ・専門業者に状況を告げ、修理を依頼してください。
 - ・その場で安全な修復が出来ない場合は、応急処置の方法を聞いて対応してください。作業はキャタライザーが充分冷えた状態で行なってください。
 - ・必ず専門業者の指示に従ってください。
最悪の場合、キャタライザー脱落による事故が起きる恐れがあります。

- 故障等の修理はお客様ご自身では絶対に対処せず、必ず専門業者に依頼してください。
- 走行中、異音・異臭・振動等の異変があった場合にはユーザーマニュアルに従って対処してください。

アフターサービスについて

本製品に関するお問い合わせは、専門業者又はお買上の販売店にご相談ください。

取 付 け 業 者 名	
電 話 番 号	
担 当 者 名	
お 客 様 氏 名	

譲渡等の際の注意

本製品を譲られるときは、必ず次のオーナーのために取扱説明書を一緒にお渡してください。
本製品を車両より取外す際には、必ず専門業者に依頼してください。

排ガス試験成績書

- 本製品には道路運送車両法 保安基準第31条に基づく排ガス試験成績書の写しが同梱されています。継続車検時等において、成績書の掲示が求められる事がありますので、常時車両内に保管してください。

※「排ガス試験成績書」は車検合格を保証するものではありません。

- 一部車種において排ガス試験成績書の写しに車台番号を記入する欄があります。その場合、本製品購入後、使用する車両の車台番号を記入して保管してください。





株式会社 エッチ・ケー・エス

〒418-0192

静岡県 富士宮市 北山 7181

<http://www.hks-power.co.jp/>